

かながわ避難者と共にあゆむ会 神奈川散歩カフェ2016 テーマ・旧東海道を歩く 日本橋から箱根まで

東日本大震災の関係で神奈川に避難されている方々の親睦と健康づくり、そして神奈川の地域を知ってもらうために神奈川近郊の名所・旧跡を季節に合わせて案内する「神奈川散歩カフェ」を企画しました。解散の後は参加者同士で各自お食事を楽しんでもらいたいと思います。この「神奈川散歩カフェ」を一緒に企画し運営していただける避難者の方を募集しています。2015年度より保険料と資料代として一人200円の参加費をお願いすることになりました。

2016年度は「旧東海道を歩く・・・日本橋から箱根まで」とテーマを決めて連続して旧東海道を歩きます。ただし歩く時間が短いので旧東海道の全てのコースを歩くことはせずポイントを訪ねて歩きたいと思います。

8月13日(土)

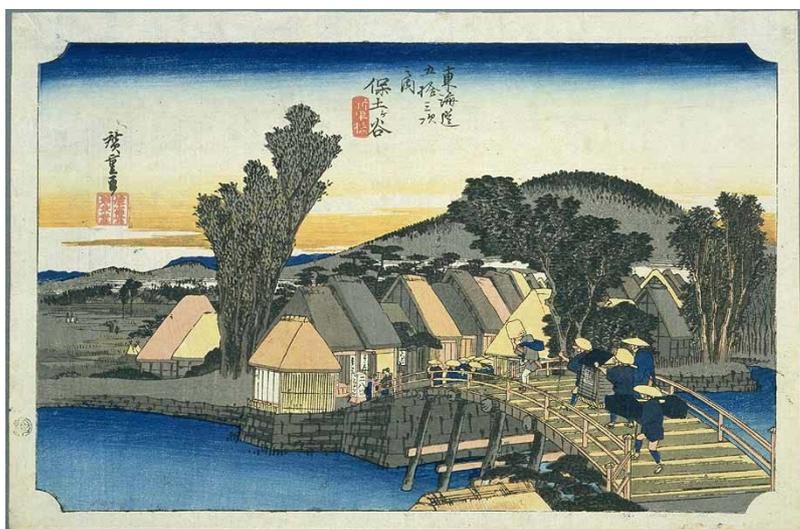
旧東海道・保土ヶ谷宿を歩く

午前10時 JR 横須賀線保土ヶ谷駅改札前集合 参加費200円

保土ヶ谷宿

程ヶ谷宿(ほどがやしゆく、ほどがやじゆく、

保土ヶ谷宿とも書く)は、東海道五十三次の4番目の宿場である。東海道では武蔵国最西端の宿場町である。1601年(慶長6年)、武蔵国橋樹郡程ヶ谷(現在の神奈川県横浜市保土ヶ谷区)に置かれた。程ヶ谷町、岩間町、神戸町、帷子町の四町からなり、神奈川宿から南西に進んだ旧東海道は、芝生村から江戸見附(現在の天王町駅付近)を越えて宿場へ入り、帷子橋を渡って下岩間町・帷子田町・下神戸町・帷子上町・上神戸町・上岩間町・程ヶ谷町と町並みが続く。程ヶ谷町には問屋場や助郷会所などがあり、さらに現在の東海道線踏切を越えた保土ヶ谷橋交差点付近にあった本陣で大きく西に折れ、茶屋町の先にあった上方見附を経て宿場を出ると元来宿場のあった元町を通り、権太坂を登って東戸塚駅方面へ進んだ。



飲み物持参・小雨決行 12時頃に解散する予定です。弁当は各自の判断でお持ちください。

「神奈川散歩カフェ」

- ・避難者対象 参加費200円 定員20名
- ・毎月原則として第2土曜日 10時集合 12時頃解散予定 飲み物持参
- ・当日受付。事前申込は必要ありません。
- ・ガイドが案内します ・小雨決行 ・都合によりコースや距離が変更される場合もあります。
- ・主管 NPO 法人神奈川県歩け歩け協会・問い合わせ先 高坂 090-2729-1246

次回案内

9月10日	土	戸塚宿	JR 戸塚駅改札口10時集合	解散 12時頃大船駅
-------	---	-----	----------------	------------